

ひととまち運動委員会

基本方針

ひととまち運動委員会 委員長 松尾 博士

私達が住む地域はこれまで商業やスポーツ、医療など多くの地域資源を元に、近年は様々な出身地、年代、人種の人々を受け入れ発展を続けている一方で、世代、地域を通し互いを理解し繋がりをもつ機会は減少しつつあります。今、ひととまちが繋がりを取り戻すべく、一人ひとりが自分たちのまちを良く知り未来を考え行動する活気あるまちづくりと、地域を愛し次の世代に向けてその姿と想いを継承し続けるひとづくりが必要です。

まずは、相撲文化を地域へ浸透させるために、わんぱく相撲化粧まわしづくりワークショップを開催し、地域の多くの親子に相撲の歴史や魅力を伝えることで相撲に対する興味や関心を育みます。そして、古き良き伝統と日本の心を世代を通して継承するために、これまでに継承してきたものを向上させたわんぱく相撲LOM予選を開催し、幅広い人々に観戦や協力を通して参加してもらうことで、謙虚で礼儀正しく他者を思いやる心を子供達の中に醸成します。さらに、地域を愛し自ら行動できる地域リーダーを育成するために、今後の日本を支える世代である青少年を対象とした思いやりと地域愛、自発心を育むことを目的とする事業を構築し、青少年の郷土を愛する意識を高め地域の将来を担う人材育成に繋がります。また、個性豊かで活気溢れるまちを創造するために、このまちに存在しながらこれまで十分に活かしきれず見過ごされている様々な地域資源を活用し、まちが本来もつ魅力を最大限に発揮させます。そして、共助の社会を実現するために、有事の際に活用できる他団体とのネットワークを構築し、災害時の相互支援体制を整えます。

人がひとをつくり、人がまちをつくる上で、鳥栖JCは挑戦する心を絶やさず地域の人々が求める未来像を共に模索し表現する団体として、様々な垣根を越える繋ぎ手となり、地域を愛するひとによる個性溢れるまちづくりを住民自身が成し遂げる社会を実現します。

<事業計画>

1. 日本の心を伝えるわんぱく相撲の取り組みの実施
2. 郷土愛を育む青少年事業の実施
3. 地域資源を活かした活気ある地域の創造に向けた運動の実施
4. 会員拡大の実施（全員）
5. 各種大会への積極的な参画（全員）